

御製 五首

平成十年

長野パラリンピック冬季競技大会

競技終へしアイススレッジの選手らは笑みさはやかにリンクを巡る

英国訪問

戦ひの痛みを越えて親しみの心育てし人々を思ふ

デンマーク訪問

デンマークの君らと乗れる船の上にクロンボー城の砲声響く

奥尻島の復興状況を聞きて

五年いっとせの昔の禍まがを思ふとき復興の様しみてうれしき

集中豪雨の被災者を思ひて

激しかりし集中豪雨を受けし地の人らはいかに冬過ごすらむ

一九九八年長野オリンピック冬季競技大会

長野県

会場に世界の人と共に歌ふ歡喜の歌は響き渡れり

第四十九回全国植樹祭

群馬県

種々の木々植ゑにけり人々と「二十一世紀の森」に集ひて

第十八回全国豊かな海づくり大会

徳島県

細き葉のあまもの苗を手渡しぬ稚魚を育む藻場になさむと

第五十三回国民体育大会秋季大会

神奈川県

若き人も年重ねたる人々も集団演技に共に縄跳ぶ

皇后陛下御歌 三首

平成十年

旅の日に

語らざる悲しみもてる人あらむ母国ほこくは青き梅実る頃

英国で元捕虜の激しい抗議を受けられた折り、「虜囚」の身となつたわが国の人々の上をも思われて詠まれた御歌

サッカー・ワールド・カップ

ゴール守るまもただ一人なる任にんにして青年は目を見開きて立つ

うつららか

ことなべて御身おんみひとつに負おひ給ひうつらら陽ひのなか何思なにおもすらむ